

鳥取大学サイエンス・アカデミー

平成26年2月～3月テーマ

共同獣医学科 「動物と人の健康を考える」

サイエンス・アカデミーは、一般市民の皆様を対象に、鳥取大学の教員が行っている研究や、今日問題となっている事柄、あるいは日頃疑問に思っていることなどを中心に、自然科学、技術、環境、地域社会に関する今日の問題について紹介しています。

講演要旨

獣

医学部・学科を設置している国立大学は全国に10大学しかありません。そのうち鳥取大学と岐阜大学は平成21年度から実施している連携を基盤として平成25年4月に共同獣医学科を設置しました。共同獣医学科では獣医師の育成のほか、動物の診療や動物用・人体用の医薬品の基礎研究、人と野生動物をめぐる課題への対処、動物愛護の啓蒙など多岐にわたる活動を行っています。人間の医療技術が進歩しているように動物の医療も進歩しています。獣医学の最前線に触れてみませんか。



日時/毎月第2・第4土曜日（原則） 10:30～12:00

会場/鳥取県立図書館 2階大研修室（鳥取市尚徳町101）

図書館連携により、琴浦町図書館、日野町図書館（第4土曜日のみ）でもライブ中継による聴講ができます。

対象/どなたでもご参加いただけます。

主 催/鳥取大学

共 催/鳥取県立図書館

申込み
不要

受講料
無料

お問い合わせ先

鳥取大学 研究・国際協力部 社会貢献課

TEL 0857-31-6777

FAX 0857-31-6708

E-Mail koken@adm.tottori-u.ac.jp

講義テーマは裏面です。

Tottori University

Science Academy

第1回 平成26年2月22日（土）

演題：動物のがん治療はヒトを救う！

講師：農学部 共同獣医学科 獣医外科学 教授 岡本 芳晴

当研究室では、がんの三大治療法（外科的切除、化学療法、放射線療法）に続く次世代がん治療の研究を実施しています。この研究には医学、民間企業にも参加していただいています。

今回、動物のがんの現状とそれらのがんに対する次世代がん治療を解説し、動物のがん治療がヒトのがん治療にも貢献が期待できることをご紹介します。

第2回 平成26年3月8日（土）

演題：したたかな寄生虫たちー宿主におけるその巧妙な伝播ー

講師：農学部 共同獣医学科 獣医寄生虫病学 教授 奥 祐三郎

多くの寄生虫はその一生において、いくつかの宿主を利用し、ある宿主動物から次の宿主動物へ乗り換えます。その乗り換え（伝播）は多くの場合、その宿主動物の食性や食物連鎖に関連しますが、一部では感染した宿主の行動や形を変化させ、この伝播を容易にさせています。

本講演では寄生虫の伝播に関連したおもしろい生態について紹介したいと思います。

第3回 平成26年3月22日（土）

演題：MRIからみた動物の病気

講師：農学部 共同獣医学科 獣医画像診断学 教授 今川 智敬

ここ十数年の間に獣医療は飛躍的に発展してきました。特に愛玩動物の医療では、CT（コンピューター断層診断）装置、MRI（磁気共鳴イメージング）装置等、人医療で使用されている高度医療機器が導入され、犬・猫の病気の診断治療に生かされています。

本講演では2010年に鳥大附属動物医療センターに導入されたMRI装置の概要と、その検査で診断された犬や猫に起こる脳の病気を中心に紹介していききたいと思います。